

〔第34回〕

# NCGG-RI 研究発表会

National Center for Geriatrics and Gerontology, Research Institute

## 超高齢社会での歯髄・象牙質 再生治療法の現状と展望

幹細胞再生医療研究部

中島 美砂子 部長

2018年11月13日(火) 16時00分～

第1研究棟2階大会議室

ヒトは一般に、加齢に伴って、治癒・再生能力が減退する。特に高齢者では疾病が慢性化し、その治療方策が対症療法になりがちで、完治が望めない場合が多い。歯科では、感染根管治療を繰り返しても完治できず、結局抜歯となる中高齢者も多い。超高齢社会においては、このような対症療法は医療・介護費を益々増加させ、医療・福祉経済の財政を圧迫する。また、ネンネンコロリではなくピンピンコロリを望む患者の意思に反すると思われる。私どもは、歯の機能回復を目指した歯髄・象牙質再生治療法の開発に長年取り組み、臨床研究を行った。また、感染根管歯でも根管の除菌と感染制御ができれば抜髄歯と同様に歯髄再生が可能であることを示唆した。さらに、高齢者でも再生を促進する前処理法をとることにより、根尖歯周組織治癒・歯髄再生が可能であることを示唆した。本研究発表会では、実用化に向けた歯髄・象牙質再生治療法の現状と展望をご紹介します。

座長：庵原耕一郎

連絡先：副所長室(内線5002)